～市民の声を県政に～

子育て・教育

千葉県の合計特殊出生率

全国40位

千葉県の合計特殊出生率は1.27で、最下位の東京都は1.12となっている。全国平均は1.33

出典　千葉県　指標で知る千葉県2022

子育てや教育にかかる経済的な負担を懸念する方が多い。また、歴史的な不況の影響が出ている可能性も推察されるが、経済的な負担軽減や子育て環境の整備が重要である。
不妊治療や多子世帯への支援等、段階においての子育て支援に取り組む必要がある。

令和 4 年 12 月発表された文部科学省の調査によると、発達障害の可能性があり特別な支援が必要な小中学生は通常の学級に 8.8%、11 人に 1 人程度在籍していると推計されている。鎌ケ谷市では全ての小中学校での特別支援学級を設置しているが、通級指導教室の増設を含め、支援体制の充実を図る必要がある。

松沢の視点

- ○ 不妊治療等への支援
- ○ 子育て世代包括支援センター等、育児相談の体制の充実
- ○ 多子世帯やひとり親世帯への経済的負担の軽減
- ○ ICT を活用した不登校支援やメンタルヘルスケアの推進
- ○ 特別支援教育の支援

目指します

健康福祉

千葉県の一人当たりの国民医療費
（少なさ）

全国2位

千葉県が29万9700円と埼玉県の29万8200円に次いで少ない。全国平均は34万600円

出典　厚生労働省　令和2年度　国民医療費の概要

千葉県の国民医療費は埼玉県に次いで少ない。人口 10 万人に対する医師数が、埼玉県 177.8 人で、千葉県 205.8 人。首都圏という地域性の中で、若い世代の人口流入が進んでいることも要因として考えられるが、両県とも急激に高齢化が進むと予測され、生涯を通じて健康でいられるよう、予防や重症化防止の視点から、千葉県民の健康を支える必要がある。

千葉県の健康ポイント事業『元気ちば！健康チャレンジ事業』、市町村とも連携可能。

松沢の視点

- ○ 小児救急医療体制の充実
- ○ 予防医療や健康づくりの取組の推進
- ○ 介護予防、相談体制の充実
- ○ 認知症の方や家族に対する支援の推進
- ○ 障がい者の支援
- ○ 特別養護老人ホームを含めた福祉施設の増床

目指します

地域活性

千葉県のなし生産量

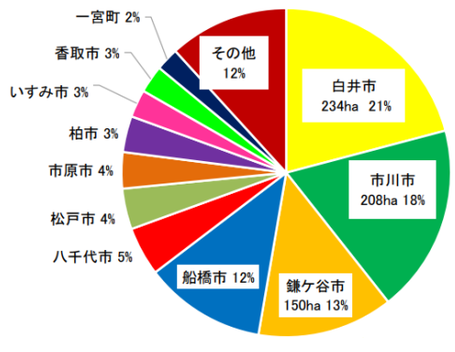
全国1位

千葉県の梨は、産出額87億円・生産量1820t・栽培面積1420haと全て全国1位である

出典　千葉県の梨の全国的な位置付け（令和2年）

千葉県は全国一の梨生産地であり、その中でも鎌ケ谷市は市の面積が少ないにも関わらず、県下で 3 位の栽培面積があり、梨の名産地であるが、農家数は減少傾向にある。
農作物の地産地消はもとより、加工品など、農商工が連携した取組みを支援することが重要と考える。
さらには、千葉県と結びつきが強い台湾を含むアジアへの輸出等、海外への展開も視野に入れた販路拡大に取組む必要がある。

市町村別梨栽培面積（日本なし露地栽培）



出典　千葉県 HP　令和2年2月1日現在

松沢の視点

- ○ 地産地消、環境保全型農業の推進
- ○ 商店街の活性化等、商工業、農業の振興
- ○ 県産品ブランド化等、観光産業の競争力強化

目指します

防犯・防災

千葉県の人口10万人当たりの検挙率
ワースト

全国2位

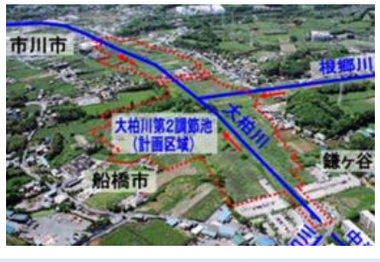
2021年の刑法犯の検挙率は、再開の大阪府（29.6%）に次いで千葉県（37.9%）はワースト2位となっている

出典　犯罪統計　令和3年1月～12月

千葉県は首都圏という地理的な要因から、分母になる犯罪件数が多いため、検挙率が低いと推察される。千葉県が進めている防犯ボックスや防犯カメラの設置の推進とともに、防犯パトロール等への支援等、地域の防犯力を高めることが重要である。
さらには、市内で発生している電話de 詐欺に対応すべく、簡易型自動録音機の配布等、防犯意識の向上を図る必要がある

令和元年の台風では、馬込沢地区・東道野辺地区などで床上・床下浸水の被害があった。さらに、市内には大津川流域における水害や土砂災害警戒区域が 8 か所あることを踏まえ、災害を防ぐための地域防災体制の強化に取り組む必要がある。

大柏川第二調整池



用地取得率約90%

松沢の視点

- ○ 防犯環境の整備、防犯カメラの設置
- ○ 災害を防ぐための地域防災体制の強化
- ○ 洪水を防ぐため、大柏川第二調整池の早期整備

目指します